

4 - 4 伊豆大島の地殻変動 Crustal Deformation in the Izu-Oshima Island

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は1987年11月16日の三原山山頂噴火の直前の11～12日に行った大島燈台－大島（外輪山）間の距離測定結果である。1987年1月の測定にくらべて2cmの縮みになった。

第2図は1987年10月に実施した水準測量結果である。これまでの変動パターンと類似のパターンがみられるが、動物公園－差木地間の沈降域の幅が狭くなっている。

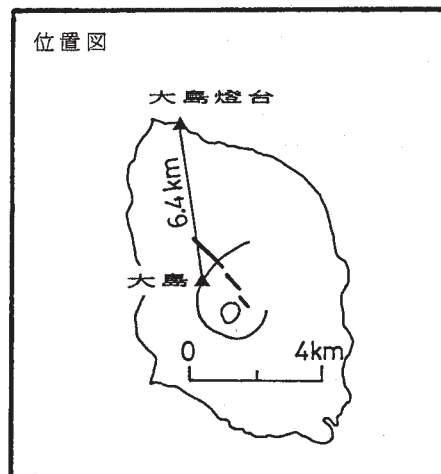
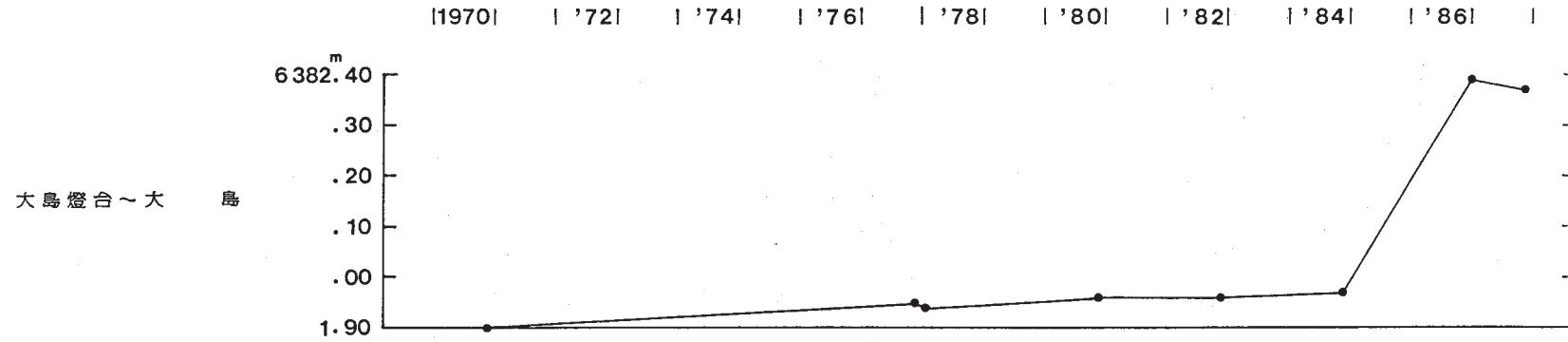
第3図は岡田，油壺，布良及び南伊豆駿潮場間の月平均潮位差である。1986年11月の噴火後，岡田はおよそ5cm沈降していることが認められる。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院：大島，三宅島の上下変動，連絡会報，**30**（1983），88－89.
- 2) 国土地理院：関東地方南部の地殻変動，連絡会報，**34**（1985），138－156.
- 3) 多田 堯・橋本 学：1986年伊豆大島噴火と地殻変動，月刊地球，**9**（1987），396－403.
- 4) 国土地理院：伊豆大島・相模湾地域の地殻変動，連絡会報，**39**（1987），280－287.

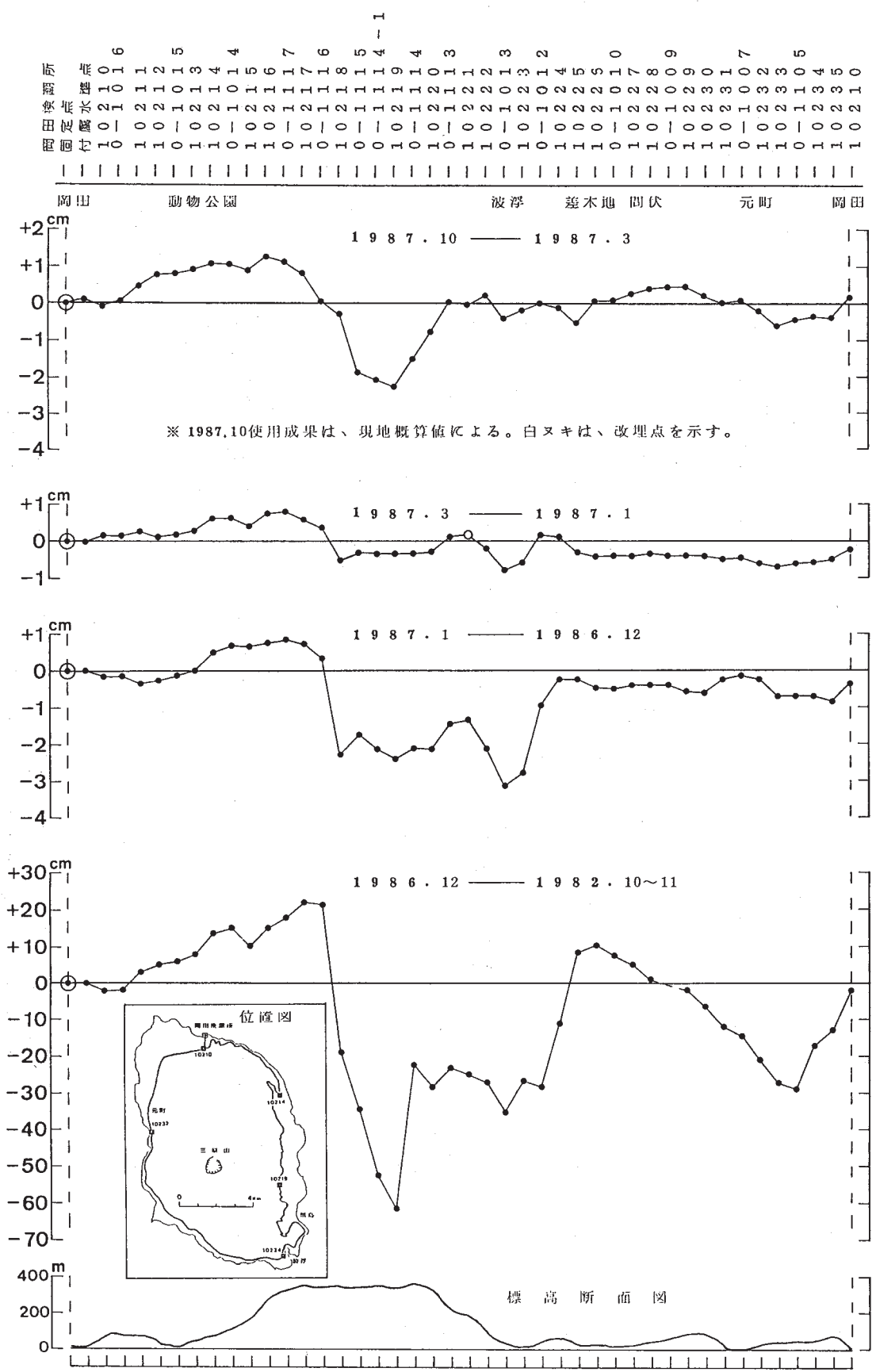
測定年 区 間	1970 3	'70 8-9	'70 11-12	'71 2-3	'71 11-12	'72 2	'72 11-12	'73 11-12	'76 8-9	'76 11	'77 11-12	'78 1-2	'78 11-12	'79 11-12	'80 1	'80 11-12	'81 2-3	'82 11-12	'84 11-12	'87 1	'87 11
大島燈台～大 島	6381. ^m	^m	^m .90	^m	^m	^m	^m	^m	^m	^m	^m .95	^m .94	^m	^m	^m	^m .96	^m	^m .96	^m .97	2.39 ^m	.37 ^m

1987年11月使用成果は
現地概算値による。

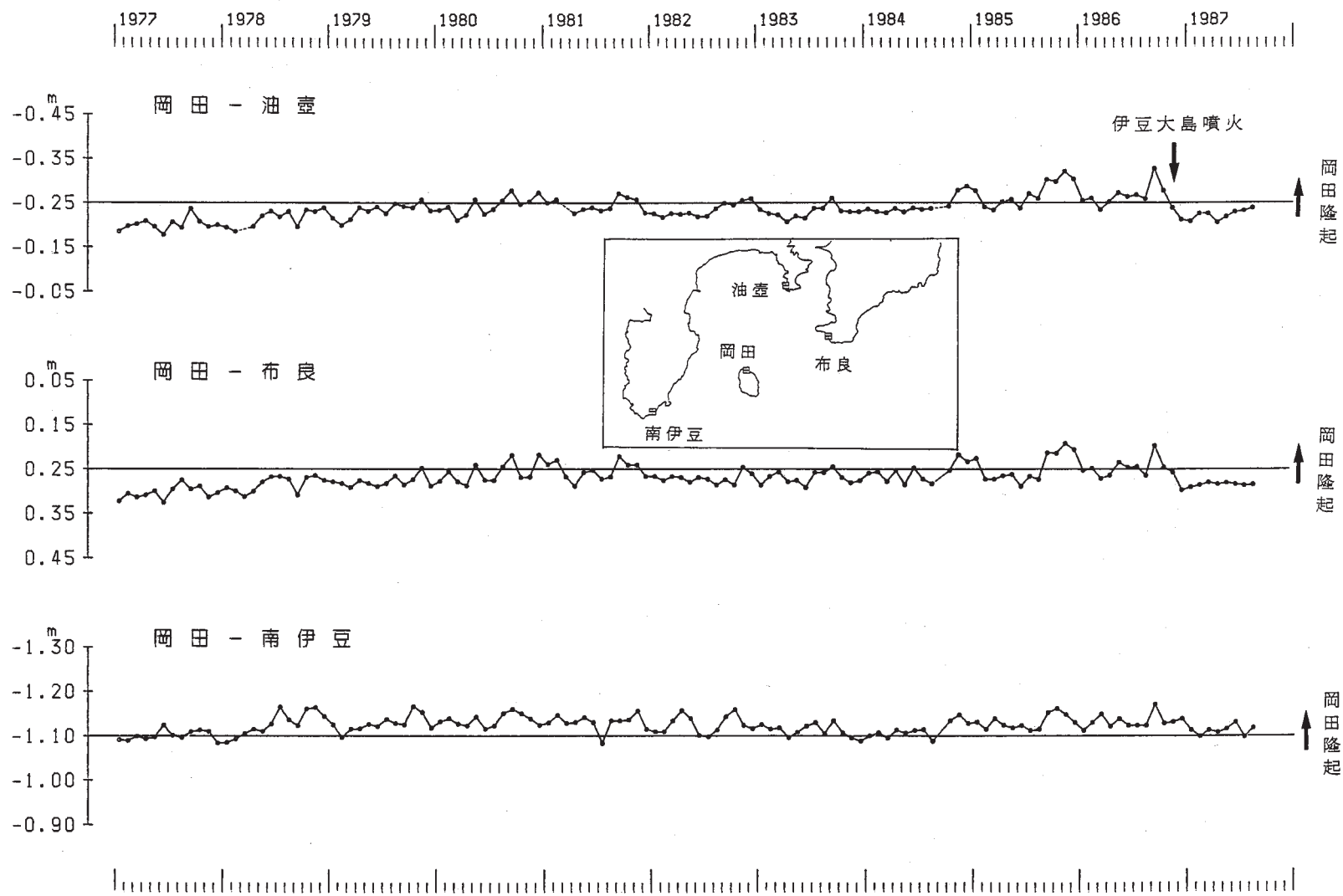


第1図 大島燈台～大島（外輪山）間の距離測定結果

Fig.1 Results of precise distance measurements between Oshima-todai and Oshima.



第2図 大島地方の上下変動
Fig. 2 Level changes along the coast of the Izu-Oshima Island.



第3図 岡田，油壺，布良及び南伊豆験潮場間の月平均潮位差

Fig. 3 Differences in monthly mean sea level between tide station pairs in Sagami bay.